

これまで公認ファシリテーター資格を取得いただいたみなさまへ

制度改定の大切なお知らせ

平素より、SDGs de 地方創生ゲームをご活用いただき、誠にありがとうございます。

サービス開始来、特に早期に資格を取得いただいたみなさまには、各地域、各機会でご本ゲームが届けたい思いの部分も含めて積極的に広げてくださり、事務局一同感謝しております。ありがとうございます。

現在、ご存知の通り公認ファシリテーター資格の取得希望者が、大変ありがたいことに加え続けており、全国各地に仲間ができる喜びと嬉しさの一方で、本プロジェクトを持続可能なモデルにしていく事務局としての責任を随所で痛感しております。

事務局ではこうした背景と、今後みなさまにより良い環境を提供し続けるために、以下の通り公認ファシリテーター制度のあり方そのものを見直すことといたしました。

長文で恐縮ですが、大切なお知らせになりますのでぜひご一読くださいませ。

1 | 制度改定と、選択できる「2つのライセンス」について

これまで公認資格を取得した様々な方々の伴走を通じ、行政機関や教育機関等にご所属で無償での開催を基本とされている方や、資格取得そのものに意味を見出していらっしゃる方、ご多忙でなかなか場の創出が難しい方など、多様なニーズがあることがわかりました。

一方、積極的に活動される公認ファシリテーターのみなさまをさらにサポートし、より良い協働を加速していく必要性、重要性を事務局として強く感じており、以下の通り「2つのライセンス」から、活動にマッチしたライセンスを選択できる制度へと変更することになりました。

営利ライセンス	有料でのゲーム開催を基本とし、事務局サポートを受けるライセンス
非営利ライセンス	無料でのゲーム開催を基本とし、事務局サポートを必要としないライセンス

制度改定に伴い、すでに資格を取得いただいた現公認ファシリテーターのみなさま（～2019年9月までに養成講座を受講した方）にも、いずれかのライセンスを選択いただけるようになります。

2 | 「営利ライセンス」と「非営利ライセンス」のサポート内容およびその費用について

有料でのゲーム開催を基本とし、事務局サポートを受けるライセンスである「**営利ライセンス**」は、事務局のサポートを受けながら共に発展的にゲームを活用いただく方向けのライセンスです。

営利ライセンス「サポート費用」 年間 13,200 円（税率 10% 込）

本制度変更に伴い、先行投資的に資格を取得いただいたみなさまには、制度改定についてのご理解を賜りたく、

サポート費用の適用 **2020年9月末まで無料**

を特別条件として設定させていただきます。

「サポート費用」をお支払いいただく営利ライセンスでは、これまで提供して参りました、

- ・公認ファシリテーター情報の登録・公開、加筆修正
- ・公認ファシリテーター主催イベントの告知・PR、加筆修正
- ・プレゼン資料の提供
- ・ご質問やご相談へのご回答

といったサポートの維持継続に加え、

- ・紛失したカードの補填（年間5枚を想定。6枚目以降は実費）
- ・ファシリテーターコミュニティのさらなる発展的運営
（オンライン会議“Zoom”等によるファシリテーター向け勉強会の企画、開催など）
- ・カードのリニューアル、見直し検討（見直し後、修正したカードの無償提供含む）
- ・ファシリテーションクオリティ向上に役立つツールの提供
（地方創生に関するノウハウ提供、ファシリテーション技術の高度化など）
- ・事務局に届いた研修依頼案件の積極的ご紹介
（ゲーム開催依頼や、ファシリテーター派遣依頼、事務局との協働事業など）
- ・SDGs de 地方創生ゲームのプレゼンスを高める事務局としての広報、PR
（取材対応といったパブリシティ、SNSの活用など）

をサポートとして提供いたします。

合わせて、学校での授業や組織内での勉強会、副業禁止規定による無償ゲーム体験会実施が中心、といった方々向けに無料でゲーム開催を基本とし、事務局サポートを必要としない「非営利ライセンス」を準備いたしました。

非営利ライセンス **サポート費用無料（ただし各種サポートを必要としない）**

皆様がサポートを受けていただくことが事務局としての思いではありますが、現在でも、各種サポートを必要とされず、今後も必要としない方々がいらっしゃいます。**非営利ライセンスの方でも、今後実費負担にてご提供できるサポートなども検討してまいります**が、事務局の限られた工数を鑑み、上記「2つのライセンス」を導入した経緯についてご理解賜れば幸いです。

なお、現公認ファシリテーターのみなさまには、無料期間終了直前の **2020年8月** をめどにどちらのライセンスを選択されるかお伺いする予定です（無料期間中は現況のままサポートは継続されます）。

3 | (参考) 2019 年 10 月以降*の公認ファシリテーター資格取得について

制度改定に伴い、2019 年 10 月以降資格取得を目指す方（*一部移行期間の 2019 年 8 月、9 月資格取得者も含む）には、以下条件をご理解いただいた上で資格取得を目指していただくことになります。

費用	講座受講費用 132,000 円 + サポート費用年間 13,200 円（ともに税率 10%込）
諸条件	サブファシリテーター体験後認定証／カードレンタル／非営利枠は各回上限あり

たくさんの方々に資格を取得いただきたいという思いがある一方、現公認ファシリテーターのみなさまと本プロジェクトをともに持続可能なものにするためにも、新しく資格取得される方々の質を担保することも重要な事務局の役割と考えております。

「サブファシリテーター体験後の認定証発行」となることで、これまで以上に現公認ファシリテーターのみなさまに体験会のお手伝い受け入れ等のご相談も発生してくる次第です。

互いに切磋琢磨できる質の高い次世代ファシリテーター育成のためにも、制度改定と合わせてご理解ご協力賜れば幸甚です。

4 | カードキットのレンタル化について

制度改定後は、カードキットは「レンタル制度」へと移行します。

これまで	資格取得費用にカードキット「購入」代金が含まれる
2019 年 10 月以降	「購入」はできず、「レンタル」できる

この 1 年間の活動を通じ、現公認ファシリテーターのみなさまには、ゲームの質向上のための真摯なご意見や、数多くの場の創出に尽力いただきました。そうした志の高いみなさまとともに高めてきたゲームゆえ、そのツールである本カードキットを「購入し取得する」ことだけが資格取得の目的になってしまう状況を、今後質の高い公認ファシリテーターを増やしていく過程で未然に防ぎたいと考えるにいたりしました。

相互に高め、それぞれの立場でより良くしていかなんとする対等な関係を事務局と公認ファシリテーターのみなさまとの間で維持継続するため、カードを「レンタル」する制度へと改定いたします。

こうした背景を踏まえ、現公認ファシリテーターのみなさまにおかれましても、営利・非営利ライセンスにかかわらず、活動休止の折にはカードキットのご返却を承りますよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

5 | 利用フィーの改定について

開発元であるイシュープラスデザインとプロジェクトデザインが、両社のノウハウを結集して制作した知的財産としてのコンテンツを利用いただくために設定された「利用フィー（パーセンテージ・掛け率）」を以下の通り改定いたします。

これまで	交通費、宿泊費を除いた売上（税込）が5万円以上である場合、 その売上の20%
2019年10月以降	<u>総売上金額の20%</u> ただし、総売上5万円未満の場合は無料

これまで通り、本利用フィーが発生するシチュエーションとしては、SDGs de 地方創生を使ったイベントやワークショップを有料開催したり、研修サービスとして外部に販売したりするケースが該当いたします。クライアント企業や団体・組織がイベント等に対して拠出する金額や、個人の参加者が支払った金額の合計金額が総売上となります。

総売上金額へと変更した経緯としては、書籍等の著作物における著作権は売上の一定割合で、著作権料を除く80%をベースとして経費や運営者側利益を捻出するのが一般的であり、経済合理性の観点から持続可能な運営モデルであると考えたためです。

制度改定後も、総売上が5万円未満の場合は「利用フィー」が発生しない条件は残させていただきました。自らが属する自治体・団体組織内での研修や、小中高大学校での授業での利用など、講師への謝礼が発生しにくい、あるいは発生させてはならない場（無料開催）などでは、これまで同様SDGsや地方創生の考え方を広げる普及ツールとしてお役立てください。

6 | 最後に、ご理解いただきたい「思い」として

冒頭お伝えした通り、公認ファシリテーター資格取得希望者が、今なお増え続けており、事務局でも想定以上の人気資格へと急成長してまいりました（参考 2019年8月36名、9月48名が新たに公認される予定）。今後は、公認資格もサブファシリテーションを経験しないと発行しないルールへと変更する次第です。

さらに多くの質の高いファシリテーターが、より多くの人たちに、高品質なゲーム体験の場を提供し続けて行くためには「ファシリテーター同士が学び合える関係づくり」「より多くの良質なゲーム体験の場の創出」「ファシリテーションクオリティの維持とさらなる向上」これらのサポートが必要不可欠と考えております。

かねてより本ゲームは、SDGsの学びの場や、地方創生を実践する場で「再現可能なサイエンスにしたい」という想いを胸に開発・運用して参りました。プロのファシリテーターでなくても想いのあるファシリテーターであれば、ポータブルなスキルとして本資格を有効活用いただける、そうした社会を創出するためにも私たち自身が持続可能な体制を築く必要がある、と日々考えてきた次第です。

今回の制度改定については、それぞれのお立場で色々ご意見もあることと存じますが、共に SDGs の理解促進、地方創生実践の場の創出をファシリテーターの皆さま方と共にこれからも活動していきたいと考えております。重ね重ねご理解賜りたく、大切なお知らせという形でご連絡させていただきました。

本件につきまして、ご不明な点や疑問点などがありましたら、お気軽にご連絡くださいませ。
引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

SDGs de 地方創生事務局 info@sdgslocal.jp

特定非営利活動法人イシュープラスデザイン

代表理事 笥 裕介

株式会社プロジェクトデザイン

代表取締役 福井 信英